

伊那北高校における学びの実践について

○伊那北高校が目指しているもの

次代に求められるディスカッションやグループワーク等を取り入れた主体性、協働性などの学ぶ姿勢の涵養と、将来的に社会に貢献できる人材育成。

そのための取組

1 探究的な学びの取組について

- 1年普通科：SDG sについて学ぶ。先輩や地域で活躍する方々から学び、地域の諸課題について考え、解決する方法を探る。
- 2年普通科：自己の進路を踏まえた課題について考え、解決する方法を探る。
- 1年理数科：SDG sについて学ぶ。実験装置や実験材料を与え、大学・研究機関で働く先輩や研究者から、研究についての方法論や思考法を学ぶ。
- 2年理数科：1年で学んだ研究の方法論をもとに、数学、物理、化学、生物、地学から分野を選択し、テーマを設定し課題研究に取り組む。

2 新校の学びのイメージに向けた現在の取組

<卓越性の伸長>

- ディスカッションやグループワークを取り入れた主体性、協働性などの学ぶ姿勢を身につけさせる授業。
- 電子黒板を活用した、効率的かつ視覚的に捕らえやすい授業。
- 実験や実習を多く取り入れた授業。
- BYOD授業の研究。

<地域との連携（中高連携を含む）>

- 1年普通科総合的な探究の時間における地域で活躍する人々にインタビューを行う「こんにちは先輩」やフィールドワークにおける地元自治体との連携。
- 医学部進学希望者に向けた医師によるシリーズ講義や文化部の発表による病院祭への参加等伊那中央病院、上伊那生協病院との連携。
- 本校生徒が指導者になり、中学生に実験を教えるクロスペンアカデミー教養講座。

<国際・グローバルへの対応>

- サイエンスアソシエーションプロジェクトによる、海外研修の計画。
- 総合的な探究の時間におけるJICAとの連携
- WWLのネットワークを活用した他校との連携によるイノベティブなグローバル人材の育成

<進路指導の取組>

- 東京大学見学会の開催。
- 東京都立大学オープンキャンパスへの参加。
- 夢ナビライブへの参加で学問、自身の興味感心のある分野を知る。
- 各自の進路希望に沿った小論文・面接指導や各大学に対応するための個別指導。